令和8年11月10日

保護者　様

白井市立七次台小学校
校　長　　高　島　　綾　子

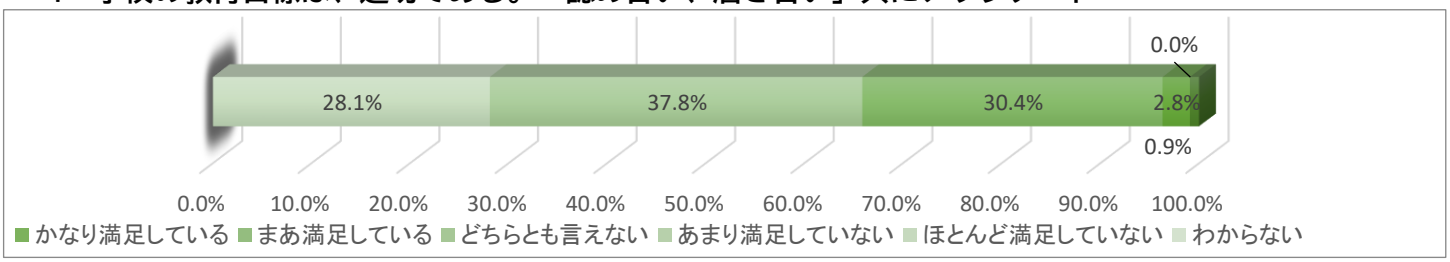
令和８年度　前期学校評価アンケート（保護者）の結果について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日実施しました「学校評価アンケート」につきまして、以下のとおり集計ができましたので、お知らせいたします。

【回収率　５９．６%】

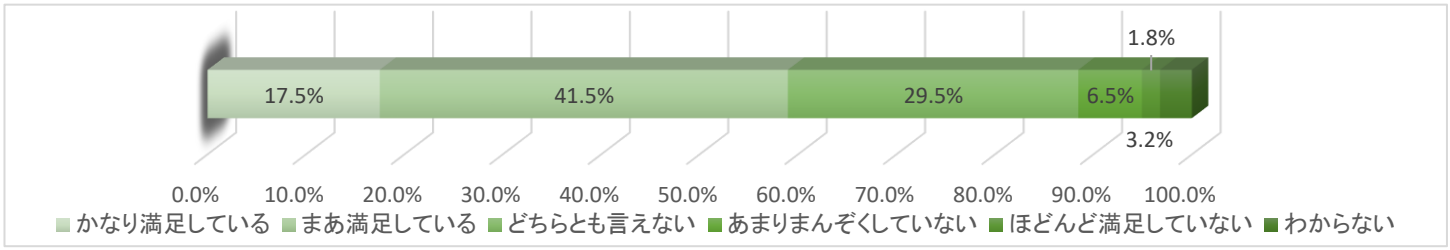
１　学校の教育目標は、適切である。「認め合い、磨き合い」共にアップデート



〇本設問では満足が65.9%、不満足が2.8%となり、多くの方から教育目標について肯定的な評価をいただきました。一方で、「どちらとも言えない」が30.4%あり、教育目標と日々の教育活動とのつながりが十分に伝わっていない面も考えられます。

〇教育目標を学校経営の柱として位置付け、授業や学校行事、児童会活動など様々な場面で実現を図ってまいります。また、教育目標に基づく具体的な取組や子どもたちの成長の様子を学校だよりやホームページ等で積極的に発信し、保護者の皆様に成果や取組が伝わるよう改善していきます。家庭との連携を大切にしながら、子どもたちのよりよい成長を支えてまいります。

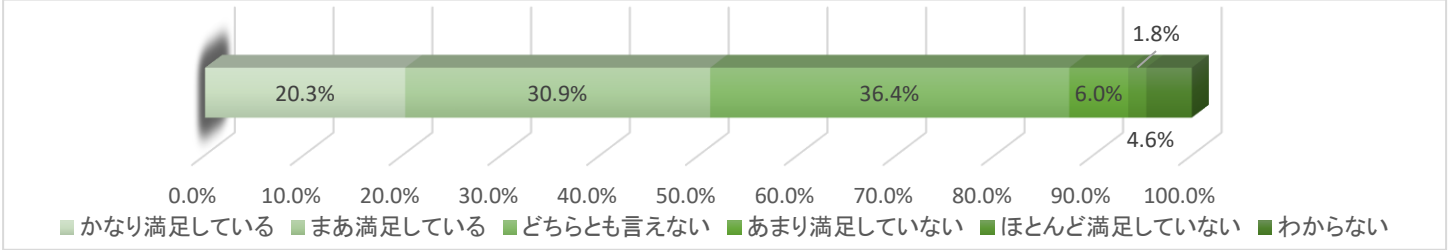
２　学校は、タブレット活用や授業の工夫を通して、子どもの学力向上に努めている。



〇満足が59.0%、不満足が8.3%でした。タブレット活用や授業改善への取組に一定の評価をいただく一方、「どちらとも言えない」が29.5%となっており、学力向上の成果を実感しにくい保護者の方もいることがうかがえます。

〇ICT活用とノート学習のよさを生かした授業づくりを引き続き推進するとともに、児童一人一人の思考力や表現力を育成してまいります。また、学習の様子や成果を授業参観やホームページ等で分かりやすく発信し、保護者の皆様と学力向上に向けた目標を共有していきます。家庭学習との連携も図りながら、主体的に学ぶ子どもの育成に努めます。

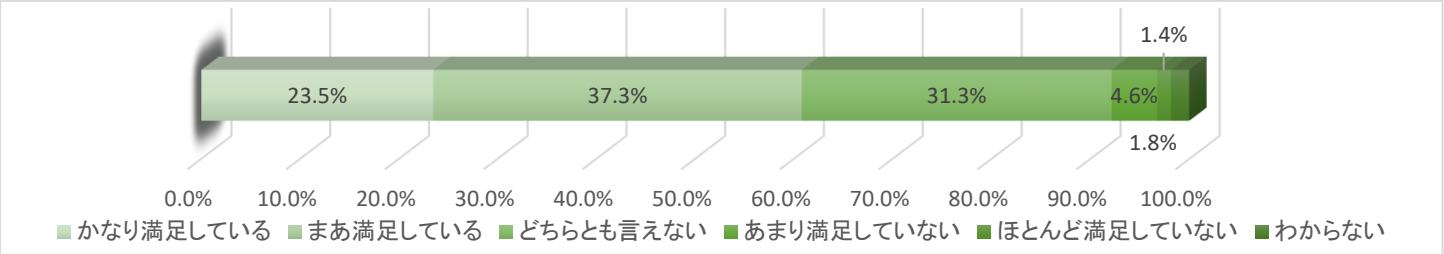
３　学校は、それぞれの子どもの個性に応じた支援（特別支援教育）に努めている。



〇満足は51.2%である一方、「どちらとも言えない」が36.4%、「わからない」が4.6%となりました。個々の児童への支援について評価をいただいている反面、支援の内容や成果が見えにくいと感じている保護者もいることが分かりました。

〇特別支援教育は全ての子どもの学びを支える取組であることを踏まえ、学級での支援や合理的配慮の考え方について積極的に発信してまいります。また、教育相談や個別面談を通して保護者との情報共有を充実させ、安心して相談できる体制づくりを進めます。一人一人のよさや可能性を伸ばせるよう、きめ細かな支援に努めてまいります。

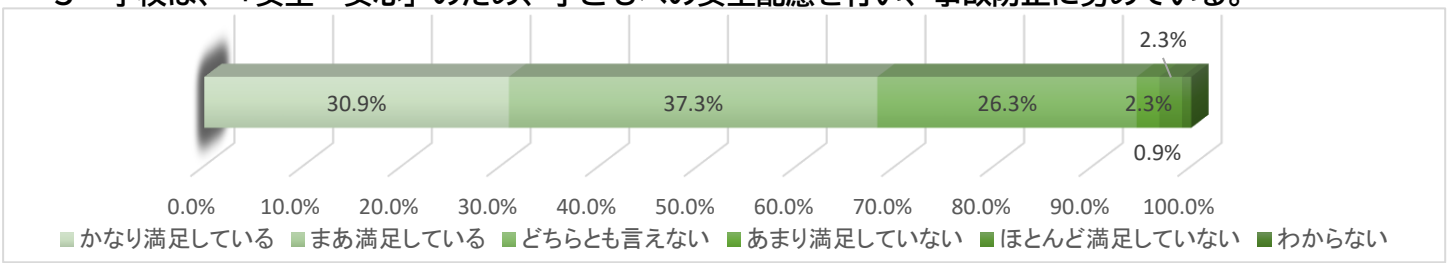
4　学校は、子どものがんばりをほめ、間違った行動に対しては、適切に指導している。



〇満足は60.8%となり、多くの保護者から肯定的な評価をいただきました。一方で、不満足は6.0%、「どちらとも言えない」は31.3%であり、指導の意図や対応の様子が十分に伝わっていない場合もあると考えられます。

〇子どもの努力や成長を積極的に認めるとともに、課題となる行動については理由や改善の方向性を丁寧に伝える指導を継続してまいります。また、保護者への連絡や説明をより丁寧に行い、学校と家庭が同じ方向で子どもの成長を支えられるよう努めます。職員間でも指導方針の共有を図り、より適切な支援を進めていきます。

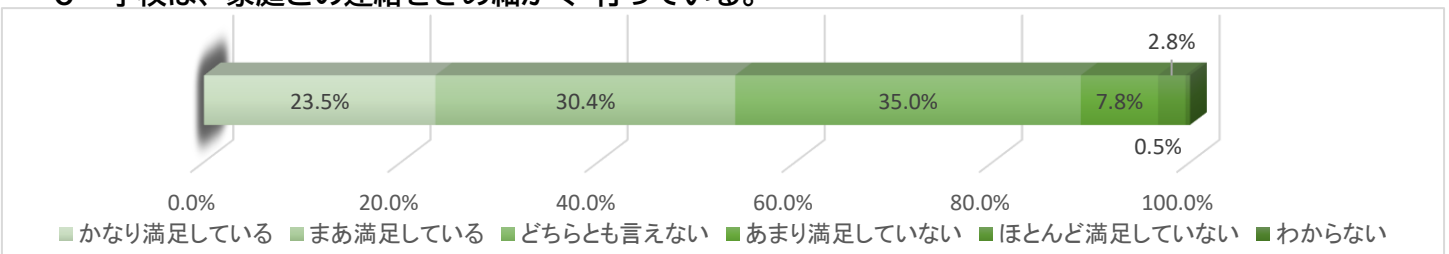
5　学校は、「安全・安心」のため、子どもへの安全配慮を行い、事故防止に努めている。



〇 満足は68.2%と比較的高い評価をいただきました。一方で、「どちらとも言えない」が26.3%あり、安全への取組をさらに周知する必要性も見えてきました。不満足は4.6%であり、より安心して学校生活を送れる環境づくりが求められています。

〇児童の安全確保を最優先に考え、校内外の安全点検や交通安全指導、避難訓練を継続して実施してまいります。また、危険箇所への対応や安全教育の取組を保護者の皆様へ積極的に発信し、学校・家庭・地域が連携した見守り体制の充実を図ります。安心して学べる教育環境の維持向上に努めてまいります。

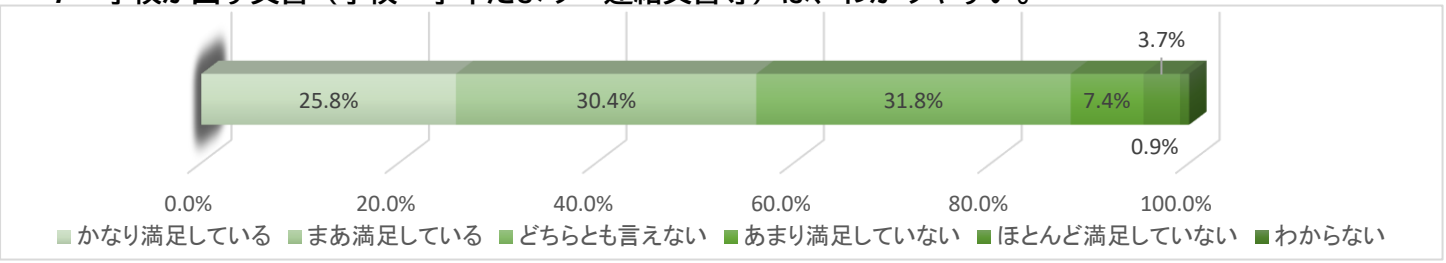
6　学校は、家庭との連絡をきめ細かく 行っている。



〇満足は53.9%でしたが、「どちらとも言えない」が35.0%を占めました。不満足も10.6%みられ、連絡手段や情報提供の方法について改善を期待する声があることがうかがえます。

〇学校からの連絡については、必要な情報を確実かつ分かりやすく届けられるよう内容や方法を見直してまいります。また、ICTの活用を進めながらも保護者の利便性に配慮し、見やすさや伝わりやすさの向上を図ります。引き続き双方向のコミュニケーションを大切にし、家庭との信頼関係を深めてまいります。

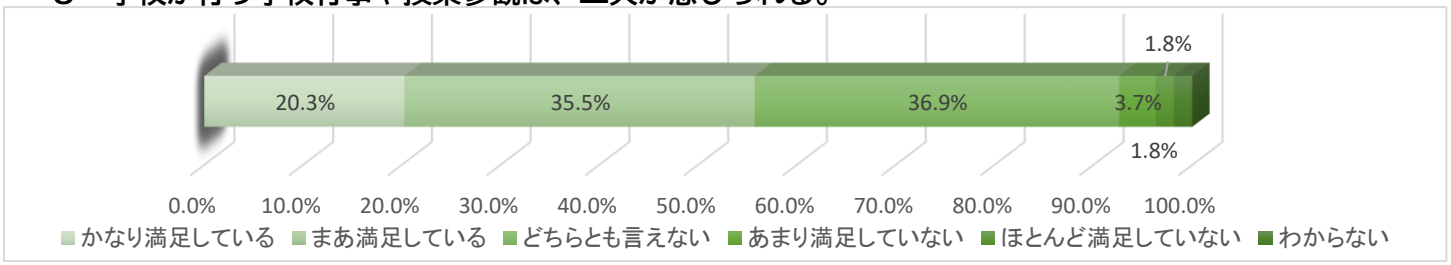
7　学校が出す文書（学校・学年だより・連絡文書等）は、わかりやすい。



〇満足は56.2%であり、学校だよりや通知文書について一定の評価をいただきました。一方、「どちらとも言えない」が31.8%、不満足が11.1%となっており、内容や表現の分かりやすさについて改善の余地があることが分かりました。

〇文書作成にあたっては、内容を整理するとともに、見出しやレイアウトなどにも配慮しながら、誰にとっても読みやすい資料づくりを進めてまいります。また、重要な内容については複数の方法で周知し、情報が確実に伝わるよう工夫します。保護者の皆様からのご意見を参考に改善を重ねてまいります。

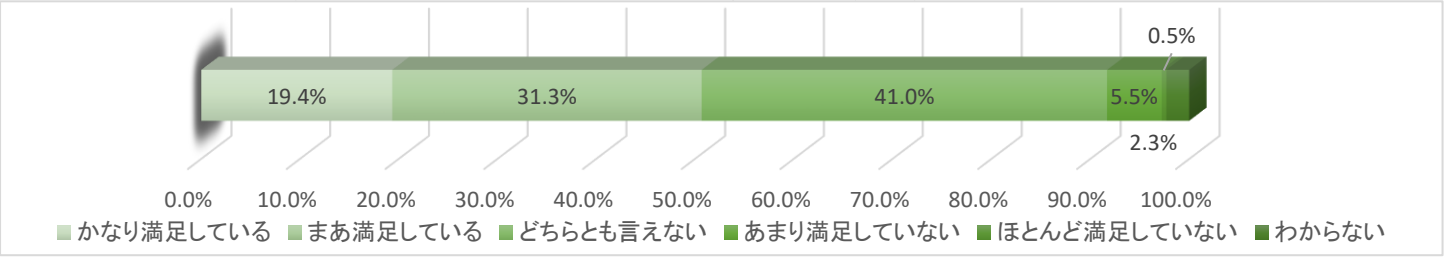
8　学校が行う学校行事や授業参観は、工夫が感じられる。



〇満足は55.8%となりました。一方で、「どちらとも言えない」が36.9%と高く、行事のねらいや工夫が十分に伝わっていない可能性が考えられます。不満足は5.5%であり、様々なご意見を今後の改善に生かしていきたいと考えています。

〇学校行事や授業参観については、子どもたちの成長がより実感できる内容となるよう工夫を重ねてまいります。また、実施の目的や期待される学びを事前・事後に分かりやすく発信し、保護者の皆様に取組の意図が伝わるよう努めます。いただいたご意見を参考にしながら、より充実した教育活動を推進してまいります。

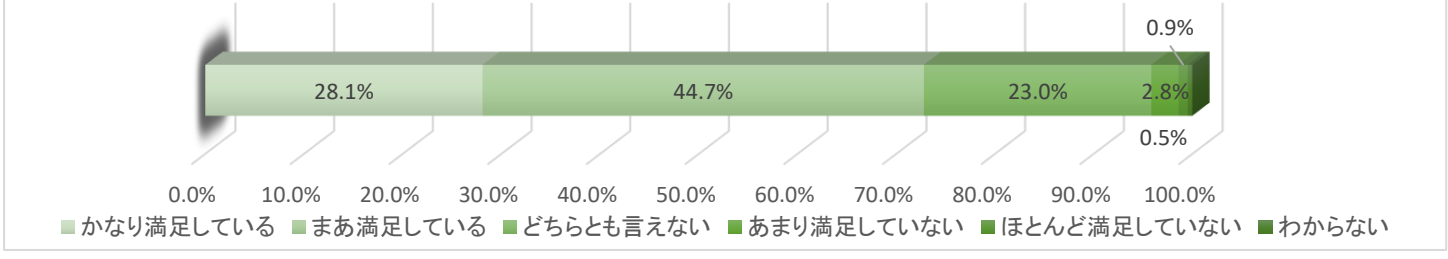
9　学校は、「地域とともにある学校」に向け、保護者や地域の願いに応えようと努力している。



〇満足は50.7%でしたが、「どちらとも言えない」が41.0%と高い割合を占めました。地域との連携活動や学校運営協議会の取組について、保護者に十分伝わっていない面があることが考えられます。

〇地域とともに子どもを育てる学校づくりをさらに推進し、地域人材の活用や交流活動の充実を図ってまいります。また、学校運営協議会や地域連携の取組について積極的に情報発信し、保護者の皆様にもその意義や成果が伝わるよう努めます。家庭・地域・学校が協力しながら、よりよい教育環境づくりを進めてまいります。

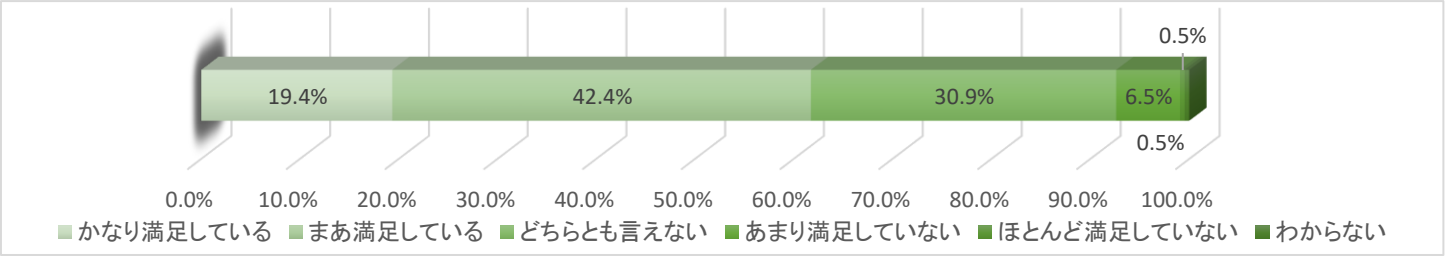
10　子どもは、心優しい思いやりのある子に育ってきている。



〇 満足は72.8%と高く、多くの保護者が子どもたちの思いやりや優しさの成長を実感していることが分かりました。一方で、「どちらとも言えない」が23.0%あり、さらなる育成への期待もうかがえます。

〇道徳教育や学級活動、異学年交流などを通して、相手を思いやる心や協力する態度を育んでまいります。また、学校でのよい行動や成長の様子を積極的に家庭へ伝え、学校と家庭が連携して豊かな人間性の育成を進めます。子どもたちが互いを認め合いながら成長できる環境づくりに努めてまいります。

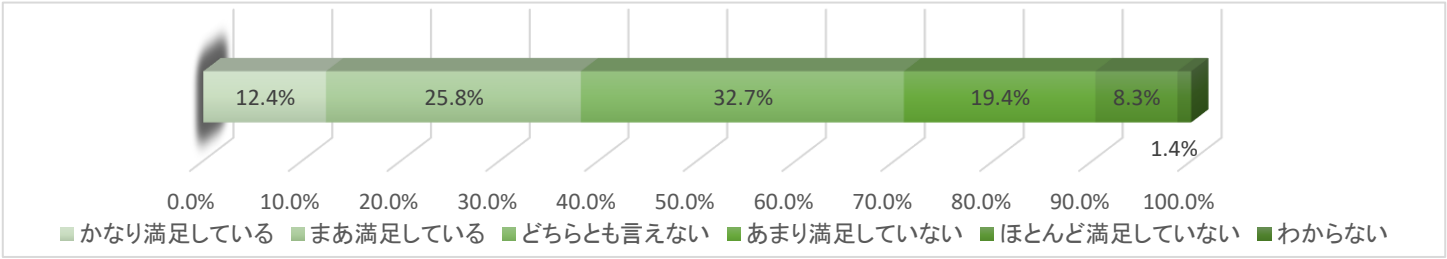
11　子どもは、場や相手に応じたあいさつができている。



〇満足は61.8%となり、多くの保護者があいさつの定着を実感しています。一方で、「どちらとも言えない」が30.9%みられ、場面による差や個人差もあることがうかがえます。

〇あいさつは人とのつながりを築く大切な力であることから、日常的な声掛けや生活指導を通して定着を図ってまいります。また、家庭や地域の皆様とも連携し、様々な場面で自ら進んであいさつできる児童の育成に取り組みます。児童のよい姿を積極的に認めながら、継続的な指導を進めてまいります。

12　子どもは、家庭において進んで学習や読書に取り組むようになってきている。



〇満足は38.2%にとどまり、不満足は27.7%と20%を超えました。また、「どちらとも言えない」も32.7%あり、家庭学習や読書習慣の定着が本校の大きな課題であることが明らかになりました。

〇家庭学習や読書への意欲を高めるため、子どもが達成感を味わえる課題設定や読書活動の充実を図ってまいります。また、発達段階に応じた学習方法や家庭での声掛けのポイントを保護者へ積極的に発信し、家庭と学校が同じ方向で支援できるよう努めます。学ぶ楽しさを実感できる環境づくりを進め、自ら学ぶ力の育成につなげてまいります。

他にも次のようなご意見を頂いております。個人が特定される可能性のある内容につきましては掲載を控えさせていただいております。また、内容が類似しているものについては割愛しております。なお、ご意見については、趣旨を変えないよう保護者の皆様からいただいた内容をそのまま掲載しております。

☆　学校への肯定的意見

- 挨拶を自分からできる児童がおり、とても気持ちがよい。
- いつもありがとうございます。これからも引き続きよろしくお願いいたします。
- 朝、声をかければ挨拶を返してくれる子供達ですが、会えば必ず向こうから「おはようございます」と声をかけてくれる、近所の低学年の男の子がいる。とても気持ちがいい挨拶です！
- 小学校で勉強やスポーツ、友達との関わり方など多くを学ばせていただきありがとうございます。
- 頻繁に更新してくださる七色だよりにより、学校生活の様子がよく分かる。
- 現在の担任は勇気づけられる言葉や納得できる助言をしてくれ、個人を尊重してくれている。
- 子どもに寄り添って、指導してくれています。
- Good interconnected communication system with school and parents available. Thank you
- 今のところいろいろ対応していただいている。
- 自宅前のコンテナの落書きを随時消しに来てくださり感謝している。既にしていると思うのですが、先生方の業務を見直しつつ、ゆとりを持って子どもたちに接していただけたら良いなと思います。

・ 担任だけでなく様々な先生が授業をしてくださるのはよいことだと思う。
・ 教室には行きにくいが、ななつぼしには前向きに通うことができており感謝している。
・ いつも子どもたちのことを考えてくださりありがとうございます。
・ いつも丁寧なご指導に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。
・ 最近、考えて行動をとるようになり成長を感じる。学校の指導のおかげです。
・ いつも子供たちをしっかり見守ってくれてありがとうございます。
・ 登下校時に児童が挨拶を返してくれ、見守りのシルバーさんにも感謝している。
・ いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。
・ 先生方にはいつもお世話になっており感謝しかありません。
・ 台風対策など早めの連絡がありがたい。
・ 先生方いいところはほめてくださりこどもたちな安心して通えてるのを見て本当にいつもありがとうございます
・ 毎日楽しく学校に通っている。ご指導ありがとうございます。
・ ドリルタイムなどにより勉強への意識が高まった。ロング昼休みもあり楽しく通えている。
・ 子どもに寄り添って指導してくれている。
・ タブレットは勉強しやすいツールのようで、自ら『ドリルパークやってくる！』と言って取り組んでおり大変ありがたいです。
・ タブレット学習については、興味ある内容を自ら楽しみながら進めているようです。
・ 困りごとがあった際に迅速に対応していただき、大変感謝しております。
・ 今年度はドリルタイムが設けられたり、昨年度より子どもの勉強への意識が高まったように思います。ロング昼休み等で、お友だちと遊ぶ時間もあり、メリハリがあって楽しく学校に通っています。ありがとうございます。
・ 何かあった際、電話などで連絡をいたたき、ありがたく思っております。美化委員で学校に行った際も授業を見学させていただき、オープンなところがありがたく、安心です。

☆　学校運営・ルール

・ LINE連絡を送っても見ていないことが多く、見られないならやめた方がよいと思う。
・ 七小コンサートの時に、ピアノ伴奏の子供が全く見えなくなるので、先頭の子供達が詰めすぎないといいな…と感じました。
・ 運動会が毎年同じでつまらない。
・ 連絡帳に戻してほしい。自分で書くことで覚えると思う。
・ 下校時に子どもたちが出てくるのが遅くなっているように感じる。
・ お金の記載のある学校文書や写真販売などはLINEでも連絡してほしい。運動会の徒競走では笛の音でのスタートで子どもたちのフライングや戸惑う姿が多く見られた。本番は保護者の声や音楽が流れていたりと聞き取りにくいようであったので、子どもたちのためにも検討してほしい。
・ 通知票の評価が少しわかりにくい気がします。〇と◎しかなくて、△も評価にいれて欲しいです。どれかがんばって欲しいところが分かりづらいと思いました。
・ いつもありがとうございます。前期の通知表を先日受け取りましたが、子供の様子を先生が記入して下さる欄が無くなっていて、学校での様子が全く分からず残念でした。勉強ももちろん大切ですが、学校での生活
・ 通知表の先生コメントがないのは残念だった。
・ 運動会の業者を変えて欲しい。前の方が分かりやすく、写真の枚数も多くてよかったと思います。

・ いつもお世話になっております。先生、学校のご指導ありがたく思っています。先日の運動会の徒競走ですが、時間を短縮したいのは分かりますが、前のグループがちゃんとゴールしてゴール係の上級生が位置についてから次のグループのスタートをお願いしたいです。やはりせっかくのイベントなので、写真や動画を撮りたいのですが、スタートしたときに、前の子もまだゴールのところにいるし、いなくなったと思ったら上級生が移動するのにウロウロするしで、そもそも正面からはかなり見づらい状況でした。祖父母からも、ゴール地点に人がうじゃうじゃして見えなかったという意見が出ました。次に、リレーの競技の順番ですが、下級生のリレーが一番始めたのは、かなり微妙だと思いました。周りの方も、いきなりリレーって聞いたことないよね？っいう方が多かったです。せめて、いくつかの競技して水分補給とかの前にするなど、来年は順番を考えるべきだと思います。次に、基本的には勉強に必要ないものは持ち込みはいけないのでは？そもそも、子供に持っていかせてるのが一番いけないとは思いますが、学校側もいけないものはいけないと伝えるべきなのでは。前の評価で同じ学年のクラスごとで持ってきていいものとかの基準があやふやなので統一してほしいと書き込みしましたが、そもそも学校でダメなものはダメということを、子供だけでなく親にも伝えるべきだと思います。持ってくる子の意思は尊重して、他の子には我慢させるのはどうかと思います。しかし、気になるところはそのくらいで、基本的には学校のご指導には日頃から感謝しております。今後もよろしくお願いいたします。

・ 運動会の種目や内容が年々つまらなくなっている気がします。多様性や人と比べない、自分に勝つみたいな。結局多様性って言葉に縛られている、自由さや成長、勝っても負けてもその先の自分と向き合うような工夫が感じない。ケガして覚えることもあると思います。その後のアフターフォローに先生方の時間が取られるリスクを優先しているように感じます。残念な世の中だと思います。
・ 運動会の種目や旗が減り、音楽部が6年生だけになったことが悲しい。

・ 引き渡し訓練ですが、クラスによって引き渡し方が違い、ただ迎えに行った感じで、これなら運動会の種目を減らしてまでやることがあったのか疑問が残ります。ちゃんと名前など確認して前から順番に引き渡ししていたクラスもありましたが、こちらから言わないと名前の確認がありませんでした。
・ 学校の教育目標に関して、一年生の娘はまだ意味がよく分かっていない様子でした。
・ 通知表の見方やタブレットの操作方法など、何かもう少し案内があると助かるなと思いました。子どもに聞いても分からない場合があり…。今後ともよろしくお願いします。
・ 早い下校の日など、なぜ早いのかの連絡や明記されていないので理由がわからない。学校からの連絡が遅すぎると感じることが多々ある。

☆　健康・安全

・ 子ども達のSNSの使い方が気になります。学校外のことなので、わかりにくいとは思いますが、LINEのアイコンやインスタ、TikTokなどに遊んだメンバーで載せたり、時と場合によっては陰湿ないじめに繋がる可能性があるので親として複雑です。家でも伝えていますが、学校からも今後も正しい使い方などご指導していただきたいと思います。
・ 通学路以外（HONDA裏）を通る児童や路上駐車があり危険。
・ 話を聞いて理解し、それを行動する事が難しいように感じられます。
・ 決めつけで話すのではなく、双方の話をよく聞いてほしい。
・ 下校の際、横断歩道ではない場所での横断が目立ち危険ですので学校の方でも、ご指導お願い致します。
・ 高学年に対してです。口の悪さ(低学年に対して男女関係なく「クソガキうるせー」等。)といった発言が目立ちます。特に男子ですが。男の子はまだしも女の子に関しては萎縮してしまい可愛そうです。登校時の行動もとても気になります。ものすごく危ないです。
・ 学童側の駐車場、送迎の際に保護者が車から降りて児童を降ろしている方が多く、待たされることが多い。道路も駐車場に入る車で渋滞していることがある。
・ 学校まで30分位歩く子供達の夏場の安全な登下校を今一度考え、対策をとってほしい。これは学校へと言うことではないですが、
・ 友達同士で話している様子を見ていて、言葉遣いの悪さが目立ちます。

☆ 学習

・ 読書習慣を身に付けさせたいが、家庭ではゲームをする時間が多い。
・ 世界的に見るとタブレット学習などは見直されてますがどうお考えでしょうか。例えばタブレットで漢字が書きにくいことでやる気が無くなることもあります。
・ タブレットの音読はふりがながなく、苦手な子には合っていない。タブレットの持ち帰りは必要ないのではと感じます。LINE連絡送っても見ていないようなことが多々あるので見ることができないならやめたほうがいいと思う。
・ タブレット学習の何がいいのかわかりません。
・ タブレット学習より実際に書くプリントなどの宿題を重視してほしい。
・ 家庭学習の宿題が少ない。
・ 漢字・計算大会は全体の学力の底上げになっているし、自己肯定感も上がっているとは思うけど、少し自信のついてきた子には範囲を広げるなどのコースも用意してもらえたらいいなと思います。
・ 誤字や書き間違いなどの指摘をもう少し丁寧にお願いしたい。たまにノートが何を書いてあるのか日本語がわからなかったり、答えが間違っていても丸がついていたりする。
・ 夏休み、日頃の学習、課題の量が足りないと感じています。楽な方に流れがちで、ちょっと難しかったり、頑張ってやらなければならない事があった方が、成長が見られるように思います。
・ 計算大会、漢字大会の練習についてクラスによって宿題で出たり出なかったりで差が出ている気がするので学年で統一して頂きたいです。
・ teamsが見辛く感じることもあり、動作が遅かったりログインに失敗したりと閲覧まで時間がかかることもありました。
・ 宿題の音読が14時頃upされている様なのですが、タブレットがバグっている様で夜まで見られない時があります。

☆ 持ち物（ICTを含む）・連絡

・ タブレットの持ち帰りは必要ないのではないか。
・ タブレットが持ち運びに重いし使いにくそうです。
・ タブレットの不具合がきになります
・ タブレットを持ち帰ると、家で使用する時間が長くなってしまうので、持ち帰らないまたは時間制限19時以降は使えないなどの制限をかけていただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

・ タブレットを活用して授業を行うことはいいと思うのですが、連絡帳を書くのは子供の書く練習にもなると思うので、連絡帳にタブレットの活用はどうかなと思います。あと低学年でまだ体も小さく、家が遠い子にタブレットを毎日持って行って、持って帰るのはちょっとつらそうに思います。そこに体操着上履きも持って帰る、傘も持ってるとかなり重そうです。荷物を分散させて持って帰るのは難しいことかもしれませんが、少し検討していただきたいです。よろしくお願いいたします。
・ 連絡帳はタブレットでなくていいと思います
・ もっとタブレットを活用して紙媒体の削減に務めてほしい。通知表もログインしてネット上で見れるようにしても良いと思う。
・ 子供が出したはずの提出物が提出されていない、と再提出を求められたことが複数回ありました。提出物の提出方法を見直していただければと思います。
・ 連絡帳がタブレットになり、先生があげるタイミングが遅くなったり、あげ忘れ等がたまにあるので、ノートに戻してほしい。最近お手紙の回答がQRコードになっているが、回答済や未回答を分かるように一覧化して欲しい。
・ 宿題の音読が見られないことがあり、タブレットの点検をしてほしい。
・ タブレットが使えなくなることが多いので、保護者のLINEにも宿題や連絡を配信してほしい。
・ 連絡帳の配信が送られていないのか、受信が出来ていないのか見れないことが多々ある。
・ 白井市のLINEアカウントの為　白井市の情報が多い時に学校の情報が配信されると　学校からの連絡を見落としてしまうことがあるので、学校専用のLINEだとわかりやすく、前に送られた内容も見つけやすくていいのに…と思う事があります。
・ タブレットが使えなくなることが多いので親のLINEに宿題や連絡が来るようになるとありがたいなと思います。
・ 連絡帳に戻してほしいです。自分で書くことで覚えるので。

⑥ その他（教職員対応・人間関係等）

・ 関わりたくない児童との関わり方について、先生の言動に不信感を持ったことがある。
・ 担任ではないが先生の言葉遣いが悪すぎる。
・ 子どもの話では先生の言葉遣いが悪いようで気になる。
・ 提出や返信期限が設けられている物は、守れないから怒って指導するのではなく、守れるように指導して、自己肯定感を上げて欲しいです。それこそ教育目標のやり方でお願いします。
・ 先生方の業務を見直しつつ、ゆとりを持って子どもたちに接してほしい。

全体に関わる内容について、ご紹介させていただきました。

多くの皆さまから温かいコメントをお寄せいただき、心より感謝申し上げます。
学校評価全体を通して、学校に対してあたたかく、前向きなご意見を多数頂戴し、本校の教育活動に対する保護者の皆さまのご理解とご信頼を改めて感じております。

個別にいただいたご意見やご指摘につきましては、真摯に受け止め、全職員で共有しながら今後の改善に努めてまいります。また、この結果をもとに、学校運営協議会委員の皆さまやPTA役員の皆さまとも話し合いを重ね、より良い学校運営につなげてまいります。

いただいたすべてのご意見を、学校への温かい期待として受け止め、子どもたちと保護者の皆さまにとって「安心して通わせられる七小」であり続けられるよう、今後も一層努力してまいります。

後期もどうぞよろしくお願いいたします。